

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原料料名	原産国	含有区分	文獻	症例 適用 措置	感染症(PID)	出典	概要
											E型肝炎	肝臓 2007: 48(Suppl.1): O-178	発症前からのウイルス血症の推移、肝炎発症から沈静化までの経過を観察しえた輸血後E型肝炎2例の症例報告である。1例は輸血21日目にHEV RNA (genotype 4)が検出され、44日目にピーク値を、もう1例は輸血後3日目にHEV RNA (genotype 3)が同定され、54日目にピーク値を示した。HEVウイルス血症は潜伏期間を経て発現し、対数増殖後約50日前後にピークを示し、その後AST、ALT上昇と血中抗HEV抗体の出現を順に認めた。
											E型肝炎	Arch Virol 2007; 152: 1623-1635	日本においてHEVの不顕性感染が増加しているかを調べるため、1991-2006年の献血者のうちHEV感染の可能性のあるALT 61IU/L以上の4019名から得られた血清検体中の抗HEV IgG、抗HEV IgMおよびHEV RNAを調べたところ、2004-2006年の献血者のHEV陽性率は1998年のそれと同等であった。またALT 201IU/L以上の献血者について1991-1995年、1996-1999年および2004-2006年でHEV陽性率の差は見られなかった。
812	2007/12/20	70812	日本赤十字社	人全血液	人全血液	人血液	日本	有効成分	有	無	細菌感染	Clin Infect Dis 2007; 44: 1408-1414	70811に同じ
											細菌感染	American Society for Microbiology 107th Annual Meeting: L-004 2007年5月21-25 日	70811に同じ
											細菌感染	Transfusion 2007; 47: 1134-1142	70811に同じ
											細菌感染	ABC Newsletter 2007年9月21日	70811に同じ
											結核	Emerg Infect Dis 2007; 13: 380-387	70811に同じ